

児童発達支援・放課後等デイサービス コモド
2025 年度 自己評価表

1. 保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）
2. 保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後デイサービス）
3. 事業所における自己評価表（児童発達支援）
4. 事業所における自己評価表（放課後デイサービス）

公表：令和7年12月31日

事業所名		コモド	保護者等数（児童数）				5	回収数	割合	100%
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			1					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	4	1				送迎時、車に2人大人が乗ってほしいです。車の中を子どもだけにする時間があるのは不安です。	ご意見ありがとうございます。しかし、車に子どもが乗る人数が多く、車種によってはもう1人職員を乗車させる事は難しいです。また、コモドに直接お迎えに来て下さる保護者の方もいる為、必ず事業所に職員を配置するようにしています。基本送迎の際には車の近くで話すようにしたり、送迎順番を変えたりし、なるべく子どもから目を離さないように心がけています。		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境（※1）になっているか。	4			1					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	1		1					
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（※2）が作成されているか	5								
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5								
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5								
	8 活動プログラム（※3）が固定化しないよう工夫されているか	5								
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等と利用児童に関する情報を共有しているか。	4	1							
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5								
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	5								
	12 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができているか	5								
	13 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5								
保護者への説明等	14 保護者会等の開催により、保護者同士の交流の機会を設けているか	5								
	15 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5								
	16 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5								
	17 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4	1							
	18 個人情報の取扱いに十分注意されているか	5								
非常時の対応	19 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5								
	20 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5								
満足度	21 子どもは通所を楽しみにしているか	3	2				子どもの問題（気分など）	子どもの気持ちの波は大きい時もある為、無理なく療育に参加してもらいながら、今後もご家庭と連携をとっていけたら思っています。		
	22 事業所の支援に満足しているか	5								

© この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表：令和7年12月31日

事業所名		コモド		保護者等数（児童数）				14	回収数	割合	100	%
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見					ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1 職員の資質の向上のために、研修の機会等を設けているか	11			3						質の向上の為、毎月1回は職員研修を行い、様々な発達について自分たちで調べて発信し、みんなで勉強しております。また、外部の研修にも積極的に参加させていただいています。今後も職員のスキルを上げ、より良い療育をしていきます。	
	2 職員の配置数は適切であるか	9	2		3	・利用日には関係ありませんが、数か月水曜日が休みだったので、先生方大変そうだなと思いました。また、先生の入れ替わりで新しい先生が結構いらっしゃるのでもまだお名前を覚えきれていません。 ・人数がもう少し増えるといいですね。				・昨年は職員の入れ替わりが多く、ご家庭にはご迷惑をおかけしました。少しずつ職員を安定させていき、みんなが安心して過ごしていけるよう努めてまいります。 また職員の人数ですが、もう少し人数を増やし、より充実した療育したいと考えており、現在も探し続けている所ではあります。		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。	12	1		1	ほとんど預け先を見に行くことが無いのでよくわかりません。					今後も子どもたちが自主的に活動できるように配慮していきます。	
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（※1）が作成されているか	14				アセスメントシートや普段の様子をよく見てくださって支援計画を作成していただいています。とても丁寧な計画で助かっています。					ありがとうございます。今後も子どもの成長を大切にしていながら作成に励みたいと思っています。	
	5 活動プログラム（※2）が固定化しないよう工夫されているか	14				毎回違う遊びや取り組みをしていると聞いています。とても工夫されています。					今後も子どもたちの発達合わせ、子どもたちが楽しく活動に参加できるように励んでいきます。	
	6 学校や児童会館等と利用児童に関する情報を共有しているか	11			3	連絡帳の内容が細かく安心していきます。						
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14				その都度文書や説明していただいています。					今後も丁寧に対応していきます。	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	14				連絡ノートや送迎の際、日ごろの様子や困りごとを書いたりして相談させていただいています。いつも長々とお話を聞いていただき感謝しております。よく話を聞かせてもらえ本人も毎回楽しく通っています。					今後も子どもたち・保護者の方に耳を傾け、丁寧に対応していきます。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14				連絡ノートや送迎の際、日ごろの様子や困りごとを書いたりして相談させていただいています。希望するとすぐにお時間を作って頂いています。					今後も子どもたち・保護者の方に耳を傾け、丁寧に対応していきます。	
	10 保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13			1	最近参加できておらず申し訳ありませんが、保護者会は開催していただいています。なかなか会に参加できないのでわかりません。					保護者会は年に3回多くて4回開催し、保護者同士のつながりを少しでも出来るようにしています。今後も定期的に開催していけたらと思っています。	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13			1	何かあった場合は迅速に対応していただいています。					今後も保護者に寄り添いながら話を聞き、丁寧に対応していけたらと思っています。	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14										
非常時等の対応	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14				コモド通信などを発行していただいています。コモド通信毎回楽しみにしています。					今後も保護者が子どもの様子などを知ってもらえるよう考えながら作っていかうと思っています。	
	14 個人情報に十分注意しているか	13										
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13				マニュアルは最初又は変更があった際にいただいて説明を受けています。					今後とも丁寧に・迅速に対応していけたらと思っています。	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13				避難訓練、定期的に行ってください参加させていただいていますし、話も聞いています。学校での経験よりコモドの訓練の方が身につけていると思います。					年4回ほど、避難訓練を行い、子どもたちには避難の大切さを伝えていきます。	

満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	13			いつも先生方に色々考えていただき、大変お世話になっております。毎回色々な取り組みや集団遊びなど、また本人に合った支援計画を考えていただいています。本当にありがとうございます。コモドに行きたくないと言ったことはありません。毎回楽しみにしています。子どもにとって安心できる場所です。色々イベントを企画してくれていて楽しく通所しています。本人が一度も行きたいと言った事は一度もありません。	保護者の方々には療育に関する様々なご協力・ご理解をいただきありがとうございます。私たちも日々、子どもたちの成長に喜びを感じながら一緒に楽しく過ごさせていただいています。今後も子どもたちの成長の一部となれるよう、また子ども一人ひとりの“できる”を実感していただけるよう、より良い支援を行っていきたく思います。アンケートのご協力ありがとうございました。
	18	事業所の支援に満足しているか	13			とても満足しています。毎回とても楽しく通っています。	

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表：令和7年12月31日

事業所名 コモド

	チェック項目	はい			工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	どちらでもない	いいえ		
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		長く利用していただいている子どもが成長している分、少し狭さを感じる事もありますが、子どもたちがじっくり遊べるスペースを職員が考えて環境を整えています。	今後も子どもたちが過ごしやすい環境を作っていきます。
	2 職員の配置数は適切であるか		○		子どもの人数に対して職員の人数は足りているとは思いますが、もっと療育の質を深めたいと考えるともう少し職員の人数を増やしていけたらと考えています。	職員の人数を増やし、さらなる療育の充実を図っていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか			○	バリアフリー化はしていません。玩具の片付け場所や来所・降所準備など手順書を作り、分かりやすいようにしたり、1人ひとりの空間を作ったりして過ごしやすいようにしています。	子どもが自主的に行動出来るように視覚の支援を取り入れていき、生活空間を作っていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			日々、玩具・部屋・トイレなどの消毒を行っています。また、活動に合わせて空間を変え、子ども達が分かりやすいようにしています。	今後も子ども達が過ごしやすいように環境整備をしていきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			子どもの関わりについては常に話をして、改善・実践を心掛けています。また、職員の動きについても話をしています。	今後も日々の中で話し合いをし、働きやすい環境を作っていきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の意向をもとにできる所から取り組んでいます。	今後も様々な意見に耳を傾け改善していけたらと思っています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	毎年ホームページにて公開しています。	今後もホームページに公開していく予定です。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			現在、評価していただいている所はありません。	発達支援センターの方に来ていただいている為、評価してもらい、改善していけたらと考えています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月に1回は職員研修を設け、職員が資料を作成し、学習の場として取り組んでいます。	質の向上を行う為、研修には参加していきたいと考えています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			事前にアセスメントシートに記入してもらい話を聞く中で保護者のニーズに対してどこからアプローチできるのか職員で話し考えて作成しています。	今後も日々の子どもの様子や保護者のニーズを分析していきながら、子どもに合わせた支援計画をしていきたいです。
	11 子どもの適応行動の状況を回るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			現在は保護者に記入していただいたアセスメントシートと職員間では支援計画から半年の様子を共有できるシートを使用しています。	今後も子どもの姿を共有できるようシートを工夫したりしていきます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			ガイドラインに沿って、子ども1人ひとりの発達に合わせた支援を行っています。	今後もガイドラインに沿った支援を行っていきます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			1人ひとりに合わせた支援内容を作成している為、その支援に沿った療育を行うように心掛けています。	今後も子どもに合わせた支援を行っていきます。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎日、その日に来る子ども達の支援計画に沿った内容を話し合う時間を設けます。ただ、その日の子ども達の様子に合わせて活動を変える事もあります。	今後も子ども達が楽しく参加できるような活動をみんなで考えていきたいです。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子ども達が飽きないように考えたり、時には子ども達も交えて活動を決めたりしています。	活動が固定化しないように子ども達の様子に合わせて工夫・臨機応変に対応していきます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			基本は集団活動がメインではありますが、子どもの発達に合わせて座ってじっくり取り組む個別の活動時間も設けています。	今後も活動の様子を見ながら個別の時間を設けていきます。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			長期休みは朝からの利用になる為、臨機応変に動く事もありますが、朝に打ち合わせの時間を設け、その日の活動をしっかりと決めるようにしています。	継続して活動や支援の内容を話し合い連携をとっていきます。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			子どもの支援経過記録を書く際には一人ひとりの様子や気になったことなどの情報をみんなで話し、共有しています。	今後も子どもの事について、職員全員で話し合いを重ねていきながら情報を共有していきます。
関係機関や保護	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援経過記録にはその日の活動の様子・関わりを細かく記入し、その日活動に参加していない職員にも読んでもらっています。	個々に合わせ、支援内容に沿った記録や日々の様子を詳しく書いていきます。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			子どもの事については月に1回、必ず会議をして、半年に1度は支援計画を更新しています。	今後も子どもに合わせ、よりよい支援計画にしていきたいです。
	21 障害児相談支援事業所のサービ担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			頻繁に会議があるわけではありませんが、児童発達支援管理責任者が参画しています。	今後も見学や会議の参加をしていきたいと考えています。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか			○	現在行っていません。	必要に応じて今後も取り組んでいきます。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			○	現在、おこなっていません。	必要に応じて今後も取り組んでいきます。

者との連携関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○	現在、おこなっていません。	必要に応じて今後も取り組んでいきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を回っているか			○	ご希望に応じて児発管が保育園などに訪問し、利用児の様子を見たり、現在の様子を情報共有したりするようにしています。	今後、利用することがあれば連携をとり必要に応じて行っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を回っているか			○	ご希望に応じて札幌市のサポートファイルを使ってコマでの様子をまとめ、その書類をご家庭から学校に渡してもらっています。	今後も保護者の意向があった際には対応していこうと思っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	助言まではありませんが、年に数回、事業所を見学してもらい、子ども達の様子や事業所での取り組みを見てもらっています。	今後も研修に積極的に参加し、様々な所と繋がりを持っていけるようにしていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	現在は行っていません。	今後機会を見て交流をしていけたらと思っています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○	北区のこども部会、運営委員会に参加させていただきます。	今後も研修に積極的に参加し、様々な所と繋がりを持っていけるようにしていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか			○	帰りの送迎時や支援計画の面談の際には、子どもの様子を伝え、状況や課題も共有していけるようにしています。	今後も日々の様子を伝えて行き、面談で話し、個々の成長や課題を互いに理解していきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラムの支援を行っているか			○	専門的な職員がいないため、取り組んでおりません。	今後については必要に応じて取り入れていきたいと考えています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか			○	契約時に丁寧に説明しています。	今後も継続して丁寧に説明していけるように心掛けていきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか			○	保護者の方に書いてもらったアセスメントと話を元に会議をし、支援計画を作成し、面談時や送迎時に説明してから同意を得ています。	今後も保護者と面談をし、支援計画の説明を分かりやすく行い、情報の共有をしていきたいと思っています。
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか			○	保護者からの相談には早く対応していけるように心がけています。また、話して終わりではなく、その後どうなったのかを確認し、継続して支援していけるようにしています。	今後も継続して丁寧に説明していけるように心掛けていきます。
	35	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	年に3回、保護者同士でお話しする機会を作り、職員の話だけではなく、様々なご家庭の意見や対応などを話しています。年々参加人数が減っていますが、今後も継続して繋がりを作っていきます。	今後も、保護者同士が関わりやすいよう環境作りを心掛けていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか			○	苦情があった際には速やかに対応させていただきたいと思っています。	今後もその時の状況に応じて臨機応変に対応していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	お便りは月に1度出すようにし、その月の子ども様子などを載せるように心がけています。行事に関しては事前に参加するご家庭にお便りを配布し、説明するようにしています。	今後も継続していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか			○	おたよりに写真を掲載する際は、顔を写さないようにしたり、個人の特定がされないように気をつけています。また、契約時に個人情報については書面に記載してもらったり、年に1回は写真の有無については確認したりするようにしています。	今後も十分気をつけて対応していきます。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか			○	ノートや送迎時にその日の子どもの様子を詳しく伝えるよう心掛けています。子どもの成長を共有できるよう意識しています。	今後も子どもの様子を詳しく伝えると共に、困っていることや知りたいこと等、共有していきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を回っているか			○	現在、行っていません。他事業所の行事や地域のイベントに参加しています。	企画・運営等を行う時間を作るよう工夫・検討を行っていきたくと考えています。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか			○	契約時にマニュアルを渡して目を通してもらっています。訓練は避難訓練等と併せて行っています。	今後も継続していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	年に数回、避難訓練を行います。事前に子どもたちに話し、訓練の大切さを伝えるようにしています。	今後も継続して行い、訓練の重要性を伝えていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか			○	契約時に確認したり、健康調査票に記入してもらったりし、職員同士で共有しています。薬の服薬前には薬の処方箋をいただき、コピーして保管するようにしています。	今後も継続し、新たに分かった子どもの様子の情報を共有していきます。
非常時等の対応	44	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか			○	医師からの直接の指示は受けてはませんが、保護者から聞いた医師からの指示を伝えてもらい情報を共有しています。	アレルギーのある子どもに対しては、情報の共有を図り対応できるようにしていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	怪我や送迎等に問題が起きた際は必ず記録を残し、職員間での共有を図っています。	記録から未然に防げるように職員間での話し合いを今後も行っていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか			○	虐待の研修を元に職員全体で周知できるように会議を設けています。	年に1回、虐待の研修を設け対応の理解を深めていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			○	現在、身体拘束を受ける利用児はいません。	今後には必要に応じて、保護者と話し合い連携をとっていきます。

◎ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表：令和7年12月31日

事業所名 コモド

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		長く利用していただいている子どもが成長している分、少し狭さを感じる事もありますが、子どもたちがじっくり遊べるスペースを職員が考えて環境を整えています。	今後も子どもたちが過ごしやすい環境を作っていきます。
	2 職員の配置数は適切であるか		○		子どもの人数に対して職員の人数は足りているとは思いますが、もっと療育の質を深めたいと思うともう少し職員の人数を増やしていけたらと考えています。	職員の人数を増やし、さらなる療育の充実を図っていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	バリアフリー化はしていません。	子ども達が自主的に行動出来るように視覚の支援を取り入れていき、生活空間を作っていきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			子どもの関わりについては常に話をし、改善・実践を心掛けています。また、職員の動きについても話をしています。	今後も日々の中で気づいたことをその都度話していきながら療育にしっかり繋げていけるように取り組んでいきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の意向をもとにできる所から取り組んでいます。	今後も出来る範囲から取り組んでいきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年ホームページにて公開しています。	今後もホームページに公開していく予定です。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、評価していただいている所はありません。	発達支援センターの方に来ていただいている為、評価してもらい、改善していけたらと考えています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月に1回は職員研修を設け、職員が資料を作成し、学習の場として取り組んでいます。	今後も子どもの療育を向上できるような内容を考え、しっかり研修として学んでいきたいと思っています。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			事前にアセスメントシートに記入してもらい話を聞く中で保護者のニーズに対してどこからアプローチできるのか職員で話し考えて作成しています。	今後も日々の子どもの様子と保護者のニーズを分析していきながら、子どもに合わせた支援計画をしていきたいです。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			現在は保護者に記入していただいたアセスメントシートと職員間で支援計画から半年の様子を共有できるシートを使用しています。	今後も子どもの姿を共有できるようシートを工夫したりしていきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎日、その日に来る子ども達の支援計画に沿った内容を話し合う時間を設けます。ただ、その日の子ども達の様子に合わせて活動を変える事もあります。	今後も子ども達が楽しく参加できるような活動をみんなで考えていきたいです。
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子ども達が飽きないように考えたり、時には子ども達も交えて活動を決めたりしています。	活動が固定化しないように子ども達の様子に合わせて工夫・臨機応変に対応していきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			子ども達が飽きないようにどんな活動をしたら良いか考え計画しています。行事も設け、今年度は調理実習も取り入れ活動しています。	今後も子ども達が楽しく利用できるように活動を計画していきたいと思います。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			基本は集団活動がメインではありますが、子どもの発達に合わせて座ってじっくり取り組む個別の活動時間も設けています。	今後も活動の様子を見ながら個別の時間を設け、子どもたちの様子をしっかりと見て把握していけるようにしていきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			長期休みは朝からの利用になる為、臨機応変に動く事もありますが、朝に打ち合わせの時間を設け、その日の活動をしっかりと決めるようにしています。	職員1人ひとりが子ども達の様子を見ながらフォローしていけるよう、声を掛け合いを行い、対応していけるようにしていきます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			子どもの支援経過記録を書く際には一人ひとりの様子や気になったことなどの情報をみんなで話し、共有しています。	個々に合わせ、支援内容に沿った記録や日々の様子を詳しく書いていき、みんなで情報共有できるようにしていきます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援経過記録にはその日の活動の様子・関わりを細かく記入し、その日活動に参加していない職員にも読んでもらっています。	個々に合わせ、支援内容に沿った記録や日々の様子を詳しく書いていき、みんなで情報共有できるようにしていきます。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			子どもの事については月に1回、必ず会議をして、半年に1度は支援計画を更新しています。	今後も子ども1人ひとりに合わせた支援計画にしていきたいです。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			ガイドラインに沿って行いながら様々な活動ができるように支援を行っています。	今後もガイドラインに沿って行っていきます。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		頻繁に会議があるわけではありませんが、児童発達支援管理責任者が参画しています。	今後も見学や会議の参加をしていきたいと考えています。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校の情報は保護者を通して連絡していただき、対応しています。送迎時には学校の先生からその日の子どもの様子やトラブルを伝えてくれるため、職員で必ず共有をし、帰りの送迎時にも保護者と共有するようにしています。	今後も保護者と連携を図り迅速に対応していけるようにしていきます。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在は受け入れておりません。	保護者の要望に応じて保育園等の連携を図ったりサポートファイルを使って対応していきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	依頼があった際には速やかに連携をかけるように取り組んでいます。学校後、教育相談にも参加し、子どもの情報共有を行っています。	保護者の要望に応じて保育園等の連携を図ったりサポートファイルを使って対応していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	依頼があった際には速やかに対応しています。また、学校等の様子については保護者を通して書面をいただき、職員で共有もしています。	今後機会があれば、情報を共有していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	年に1回、児童発達支援センターの方が巡回に来ていただき、その際に相談をさせていただいています。	今後も研修に積極的に参加し、様々な所と繋がりを持っていけるようにしていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	現在は交流する機会があまり作れていません。	今後は日程や時間を調整しながらできることから交流する機会を作っていくと思っています。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		○	北区のこども部会、運営委員会に参加させていただきま	今後も継続し、積極的に参加し他機関との交流を図っていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか		○	帰りの送迎時や支援計画の面談の際には、子どもの様子を伝え、状況や課題も共有していけるようにしています。	今後も日々の様子を伝えて行き、面談で話し、個々の成長や課題を互いに理解していきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	専門的な職員がいないため、取り組んでおりません。	保護者の要望に応じて保育園等の連携を図ったりサポートファイルを使って対応していきます。
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○	契約時に丁寧にしています。
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	保護者からの相談には早く対応していけるように心がけています。また、話して終わりではなく、その後どうなったのかを確認し、継続して支援していけるようにしています。	今後も研修に積極的に参加し、様々な所と繋がりを持っていけるようにしていきます。
32		保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	年に3回、保護者同士でお話しする機会を作り、職員の話だけではなく、様々なご家庭の意見や対応などを話しています。年々参加人数が減っていますが、今後も継続して繋がりを作っていきます。	今後は日程や時間を調整しながらできることから交流する機会を作っていくと思っています。
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○	苦情があった際には速やかに対応させていただきたいと思っております。	今後も継続し、積極的に参加し他機関との交流を図っていきます。
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	お便りは月に1度出すようにし、その月の子どもの様子などを載せるように心がけています。行事に関しては事前に参加するご家庭にお便りを配布し、説明するようにしています。	今後も日々の様子を伝えて行き、面談で話し、個々の成長や課題を互いに理解していきます。
35		個人情報に十分注意しているか		○	おたよりに写真を掲載する際は、顔を写さないようにしたり、個人の特定がされないように気をつけています。また、契約時に個人情報については書面に記載してもらったり、年に1回は写真の有無については確認したりするようにしています。	今後も十分気をつけて対応していきます。
36		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○	ノートや送迎時にその日の子どもの様子を詳しく伝えるよう心掛けています。子どもの成長を共有できるよう意識しています。	今後も子どもの様子を詳しく伝えると共に、困っていることや知りたいこと等、共有していきます。
37		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	現在、行っていません。他事業所の行事や地域のイベントに参加しています。	企画・運営等を行う時間を作るよう工夫・検討を行っていきたくと考えています。
38		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	契約時にマニュアルを渡して目を通してもらっています。訓練は避難訓練等と併せて行っています。	今後も継続していきます。
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	年に数回、避難訓練を行います。事前に子どもたちに話をし、訓練の大切さを伝えるようにしています。	今後も継続して行い、訓練の重要性を伝えていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	虐待の研修を元に職員全体で周知できるように会議を設けています。	年に1回、虐待の研修を設け対応の理解を深めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	現在、身体拘束を受ける利用児はいません。	今後は必要に応じて、保護者と話し合い連携をとっていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	医師からの直接の指示は受けてはいませんが、保護者から聞いた医師からの指示を伝えてもらい情報を共有しています。	アレルギーのある子どもに対しては、情報の共有を図り対応できるようにしていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	怪我や送迎等に問題が起きた際は必ず記録を残し、職員間での共有を図っています。	記録から未然に防げるように職員間での話し合いを今後も行っていきます。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。